

のぞき正志通信

三条市議会議員

いつもお世話様です。この度の衆議院選挙において、力強いご支援を頂き、誠にありがとうございました。しかし、8小選挙区、全員惜敗となりました。比例区において、805万票で21名の陣容となり、新たな党再建となります。

捲土重来、次の戦いには必ず勝利してまいります。これからも一生懸命頑張っておりますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。



排水路の蓋の修繕（林町地内）

電子黒板の授業（大崎小）

289号線トンネル（只見町側）

9月定例会 補正予算で学校施設の耐震化の補強工事が推進されました。

①耐震補強対象校 （事業費 4億 7718万円）

No	学校名	階数	建築年	棟区分	面積	備考
1	西鱒田小	1	S48年	屋内体育館	769	
2	月岡小	1	S50年	屋内体育館	694	
3	大崎小	1	S49年	屋内体育館	755	
4	南小	1	S52年	屋内体育館	1,100	
5	第一中	1	S43年	屋内体育館	1,423	
6	第二中	4	S45年	校舎	2,316	
7	本成寺中	4	S54年	校舎②	1,967	
		4	S54年	校舎③	1,368	

②エコ化（グランド改修工事・芝生化）大崎小、大島小、第三中事業費2億 3135万円
（暖房設備改修工事・ペレットストーブ導入）月岡小、大崎小、保内小、第三中、大崎中
事業費2億 8588万円

③ICT化（デジタルテレビ、電子黒板、PC等）事業費 2億 950万6千円

三条市新ごみ処理施設整備・運営事業建設請負工事契約が締結。（88億 8510万円）

女性特有がん検診（子宮頸がん・乳がんのクーポン券、検診手帳が発行されます。）

平成 21 年 6 月定例会 野崎正志（公明）の一般質問の要旨報告（6 月 17 日 6 番目）

Q：（野崎）経済危機対策の取組みについて、緑の産業プロジェクトの活用はどうか。

A：（市長）新規事業として実施されている。木質ペレットの利用を地域で一体的に進める事業メニューも示されている。今後、国県で示される、より具体的事業内容、スケジュールを見ながら積極的に検討していきたい。

Q：（野崎）授業料減免補助や奨学金に対する緊急支援について、どう取組みを行うのか。

A：（教育長）市の奨学金は募集人員に満たないことから再募集する計画である。緊急支援の取組みは今のところ考えていない。

Q：（野崎）地域での自殺対策は喫緊の課題である。市の取組みの現状はどうか。

A：（健康づくり課長）社会的要因への働きかけに、うつ状態にある人の早期発見が重要である。精神保健相談などの支援を行っている。国の予防週間に合わせて、9月に講演会を開き、更に啓蒙を進めたい。

Q：（野崎）スクールニューデイル構想の取組みについて、学校耐震化の調査はどのように進めているのか。学校における太陽光発電の推進はどうか。学校の芝生化はどうか。

A：（副市長）国の方針に基づいて対応している。優先度ランクによって調査も行っている。耐震化事業は、臨時交付金の対象となっている。診断結果を踏まえて今回の財源措置を充分活用して行きたい。太陽光発電は耐震化の中で、芝生化はグラウンド改修の中で考えて行きたい。

Q：（野崎）昨年、洞爺湖サミットでクールアースデーが提唱された。市の取組みはどうか。

A：（市民部長）ライトダウンキャンペーンが実施されている。環境団体と連携して、市民に周知を図って行きたい。ノー残業デーとするなど、消灯することを要請して行きたい。

平成 21 年 9 月定例会 野崎正志（公明）の一般質問の要旨報告（9 月 4 日 2 番目）

Q：（野崎）新型インフルエンザ予防対策で保育所、小、中学校の集団感染予防はどうか。予防の為に市民、地域、事業者への広報啓発はどう取り組むのか。

A：（市長）保育施設は、児童、職員の手洗い、うがいの励行を行っている。小中学校においても、予防に力を注ぎ。広がり防止に力を注いでいる。登校した児童生徒の健康観察を指導しており、各施設では手指消毒液を設置して感染予防に努めている。インフルエンザが発生した場合、速やかに報告を受ける体制を構築している。クラス等で10%の児童生徒が欠席した場合、保育所は登園自粛、小中学校では、学級閉鎖の感染拡大防止対策をとる。今後の状況によってはチラシなどで迅速かつ確かな情報提供に努めたい。事業所へは、商工会議所等の関係団体と連携し、広報啓発活動に努めたい。

Q：（野崎）青少年健全育成について、薬物乱用防止対策の取組みは、市としてあるのか。

A：（教育部長）新潟県薬物乱用防止ダメゼッタイ普及運動を行っている。すべての小中学校で薬物乱用防止教室の授業を実施している。今後も指導員や三条警察署と連携し、薬物の危険と法律で厳しく禁止されていることを子どもたちに指導して行きたい。

Q：（野崎）熱中症対策について、市民への広報の現状はどうか、脱水症状での水分補給の常備状況はどうか、熱中症指標計の配備はどうか。

A：（教育長）予防のポイントなどは国や県などからの周知を学校現場では周知している。適切な対応がとられている。保健室には、すべての学校でクーラーが設置されている。冷水機は中学校で8校に17台を設置してある。スポーツドリンク、冷却材、氷などはストックしてある。指標計は国、県の動向や他の自治体の状況を注視し、調査研究をしていきたい。



お気軽にご相談ください。

のざき正志後援会

住所： 955-0057 三条市新光町 8-4
TEL/FAX： 0256-35-2341

http://www.komei.or.jp/giin/sanjo/nozaki_masasi (PC用)

<http://www.komeito.com/giin/nozakimasashi06/> (携帯用)